

新北市藝遊

新北市ニューアート新北市博物館と芸術文化情報

紫砂漫遊

400 Years of Yixing Teaware and Its Influences on Global Tea Culture

聚焦臺灣

*Journey of the
Zisha Teapot
to Taiwan and
Beyond*



カバーストーリー

紫砂めぐり・台湾にフォーカス

会期：即日より 06/18 まで
場所：新北市立鶯歌陶磁博物館

特別展の「紫砂名作集」コーナーでは、造形や技術の面で代表的な世界各地の紫砂茶壺作品を 26 点展示しています。

中でも、17 世紀末から 18 世紀初頭にかけての作品である「鄭荊玉作」の鋪砂裝飾四方壺は、台湾の個人によるコレクション。清代の四方壺作りの名手であった鄭荊玉によるこの作品は、本体が正方形で、蓋のつまみ、茶壺の足、取っ手などの曲折部がすべて直角をなす、稀に見る素晴らしい作品。タタラ成形で作られた本体には、淡色の細かい砂がムラなく敷き詰められており、即ち本体の 4 つの面すべてに砂をまぶした作品となっています。見学者の中には、「まるで豚の血餅にビーナッツ粉をまぶしたような技法ではないか」とアイデアあふれるコメントをし、貴重な紫砂茶壺の制作技法に庶民派グルメのような親しみを持つ人もいました。



紫砂茶壺の蓋のつまみ 本物の旅かえる

同じコーナーで展示されている彩釉裝飾の紫砂茶壺「漢珍」は、本体、注ぎ口、取っ手部分が竹節を、蓋のつまみが 3 本足のヒキガエルをかたどっています。釉薬で全体に彩色と山水画が施されており、18 世紀に流行した茶壺の一つとなっています。一方、金色の桂花砂が一面に施された「紫砂蟹鈕桂花砂扁灯壺」は、蟹をモチーフにした蓋のつまみが特徴。平たく丸い茶壺の本体は、上下幅が指 1 本分しかなく、制作難易度が極めて高く、焼き上がりの成功率が極めて低い作品となっています。また、蟹には科挙の甲科及第の意味が込められています。ヒキガエルと蟹をモチーフにした二つの紫砂茶壺のつまみ部分から、すぐに台湾全土で大流行したスマホゲーム「旅かえる」とその友達蟹を連想した見学者の方々は、17、18 世紀にも本物の旅かえるがいたのかと、次々にスマホで撮影し、SNS に投稿していました。

新北市立鶯歌陶磁博物館

鉄道 → 台湾鉄道の区間車に乗車して鶯歌駅にて下車。文化路出口から駅を出て、徒歩約 10 分。

エディターの選

春の梅甕壺仕込み —カリカリ梅を DIY

会期：即日より 05/06 まで
場所：新北市立鶯歌陶磁博物館

春は梅がたくさん収穫できる季節。鶯歌陶磁博物館が皆様をカリカリ梅の楽しい手作り体験にご招待します。春ならではの幸せな味わいを、心を込めてデザインした梅壺に詰めてお持ち帰りください。

カリカリ梅の DIY 体験 たっぶりの思い出を持って帰ろう

カリカリ梅の DIY 活動が 3 月 8 日より申し込み受付を開始します！春分を迎え、花々が咲き乱れる心地よい暖かな春は、青梅がたくさん採れる季節でもあります。特に 3 月下旬の春分の日から 4 月の穀雨までの 1 か月間に収穫された青梅は、6 分程度に熟した青く硬い状態で、甘酸っぱく爽やかなカリカリ梅を作るのに最適です。今回使用するのは南投県水里郷特有の胭脂梅。その胭脂梅が鶯歌の陶磁とともに美味しい会話を繰り広げます。ぜひ一緒に陶磁博物館でカリカリ梅作りの楽しさをご体験ください。



10 周年祝い 水差し型梅壺

鶯歌焼のブランド成立 10 周年を迎えて発表された今年の梅壺は、羽を休めて立つ鳥の姿を表した形になっており、おなじみの鶯歌石の形とを結びつけることで、鶯歌のご当地色を表現しています。蓋の取っ手部分には、鳥頭部の羽に見立てた鶯歌焼の商標が使われているほか、千年にわたって愛され続けてきた青磁色との組み合わせから、『青鶯楽』と名付けられました。蓋は内部のストッパーにより落ちにくい設計になっており、壺本体と取っ手は流線型のデザインを使用。どの角度から眺めてもふくよかで活力のあるデザインは、「鶯歌焼」のこの 10 年間の目覚ましい発展を象徴しています。また、今回初めて採用した実用的な水差し設計により、梅壺としてだけでなく、洗練されたアイデア商品や、生活の質を向上させるグッズとしてもお使いいただけます。



新北市立鶯歌陶磁博物館

鉄道 → 台湾鉄道の区間車に乗車して鶯歌駅にて下車。文化路出口から駅を出て、徒歩約 10 分。

博物館情報

新北市国定古跡林本源園邸

● 新北市板橋区西門街9号
☎ 02-2965-3061 3 ● www.linfamily.ntpc.gov.tw
● 月曜日から日曜日まで 09:00-17:00
毎週金曜日は時間を延長して 19:00 まで公開しています。(第一月曜日休館)

新北市立鶯歌陶磁博物館

● 新北市鶯歌区文化路200号 ☎ 02-8677-2727 ● www.ceramics.ntpc.gov.tw
● 月曜日から金曜日まで 09:30-17:00 土曜日から日曜日まで 09:30-18:00 (第一月曜日休館)

新北市立十三行博物館

● 新北市八里区博物館路200号
☎ 02-2619-1313 ● www.sshm.ntpc.gov.tw ● 09:30-17:00

新北市烏來泰雅民族博物館

● 新北市烏來区烏來里烏來街12号
☎ 02-2661-8162 ● www.atayal.ntpc.gov.tw
● 火曜日から金曜日まで 09:30-17:00 土曜日から日曜日まで 09:30-18:00 (月曜日休館)

新北市立黄金博物館

● 新北市瑞芳区金光路8号
☎ 02-2496-2800 ● www.ggp.ntpc.gov.tw
● 月曜日から金曜日まで 09:30-17:00 土曜日から日曜日まで 09:30-18:00 (第一月曜日休館)

新北市客家文化園區

● 新北市三峽区隆恩街239号
☎ 02-2672-9996 ● www.hakka.ntpc.gov.tw
● 月曜日から金曜日まで 09:00-17:00 土曜日から日曜日まで 09:00-18:00 (第一月曜日休館)

新北市坪林茶業博物館

● 新北市坪林区水德里水墘凄坑19-1号
☎ 02-2665-6035 ● www.tea.ntpc.gov.tw
● 月曜日から金曜日まで 09:00-17:00、土曜日から日曜日まで、09:00-17:30 (第一月曜日休館)

新北市立淡水古跡博物館

淡水紅毛城
● 新北市淡水区中正路28巷1号
滬尾砲台
● 新北市淡水区中正路一段6巷34-1号
清朝淡水稅關埠頭
● 新北市淡水区中正路259号
淡水藝術工房
● 新北市淡水区中正路298号
得忌利士洋行(ダグラス洋行)
● 新北市淡水区中正路316号
公司田溪程氏古民家
● 新北市淡水区新民街一段138巷7号
滬水一方レジャー芸術文化センター
● 新北市淡水区觀海路91号3階
前清淡水関稅務司官邸(リトルホワイトハウス)
● 新北市淡水区真理街15号
☎ 02-2623-1001#26 ● www.tshs.ntpc.gov.tw
● 月曜～金曜 09:30-17:00、土、日曜 09:30-18:00 (毎月最初の月曜日休館) ※公司田溪程氏古民家: 火曜～日曜 11:00-17:00、その他の時間帯は予約制となります。(月曜日休館) ※滬水一方レジャー芸術文化センター: 月曜～金曜 10:30-17:00、土、日曜 10:30-18:00。(毎月最初の月曜日休館) ※淡水藝術工房: 月曜～金曜 11:00-21:00、土、日曜 10:00-21:00。(毎月最初の月曜日休館) ※紅毛城と清朝淡水稅關埠頭の夏4～10月のあいだは庭園が20:00 までに延長。

新北市国定古跡林本源園邸



子どもの日に林園で

会期: 04/04 (水)、04/07 (土)、04/14 (土)
場所: 新北市国定古跡林本源園邸

いよいよ子供の日! 国の指定古跡である林本源園邸では、様々な見応えのある楽しいDIY 体験活動をご用意。お手玉、ドラゴンボール、しん粉細工など、講師の指導のもとで昔ながらの遊び道具の作り方を学び、ユニークな伝統のおもちゃを手作りしましょう。ぜひご家族揃って、林園で楽しいひと時をお過ごしください。



🚗 自動車 → 台北市和平西路三段から、華江橋を渡って文化路を直進し、民権路を右折したらすぐ左折します。運動場に沿って進むと到着します。

🚌 バス → 264、307、310、701、702 に乗車し林家花園駅で下車いただき、板橋林家花園に到着します。

🚇 MRT → 板南線(青ライン)「府中駅」で下車し、1番出口から徒歩約8分。

新北市立鶯歌陶磁博物館



会話—陶磁のテクノロジーとアート

会期: 即日より 04/15 まで
場所: 新北市立鶯歌陶磁博物館 / 1F 陽光企画展室

「古今を超える使者」、「文明の存在」、「我々はどこへ向かうのか」の三つをテーマに、工業設備、医学用・軍事兵器用材料、自動車用部品など、様々な陶磁製テクノロジー製品、材料、部品を展示し、テクノロジーの発展と芸術文化、自然環境の三者の関係について探ります。



🚗 自動車 → 国道3号線高速道路三鶯インターチェンジ(交流道)を下りて、鶯歌方向へ進み、三鶯橋を渡って文化路公共駐車場へ。

🚌 バス → 台北客運バス 702、851、917、981 に乗車するか、桃園客運バス(鶯歌方向)に乗車。

🚇 鉄道 → 台湾鉄道の区間車に乗車して鶯歌駅にて下車。文化路出口から駅を出て、徒歩約10分。

新北市立十三行博物館



2018 新北市考古生活フェスティバル

会期: 04/28 より 04/29 まで
場所: 新北市立十三行博物館

全国最大の屋外考古学カーニバル「新北市考古生活フェスティバル」が、「装飾の考古学」をテーマに開催されます。120 に及ぶ教育体験ブースや、「先史時代のドリンク店」、「台湾の伝統の味」、異国グルメなどをご用意しておりますので、ぜひご家族揃って、この豊富で美しい文化の饗宴にご参加ください!



🚗 自動車 → 台 15 号線: 閩渡大橋 → 台 15 号線を八里方向(龍米路)へ → 中華路 → 文昌路 → 博物館路 → 十三行博物館

🚇 MRT → 1. 淡水線「淡水駅」→ 渡し船 → 「渡船頭」でバス紅 13 に乗り換え → 十三行博物館、または、渡し船 → 紅 22 番バス、704 番バス → 「仁愛路」で下車 → 徒歩 5 分 → 十三行博物館。
2. 淡水線「閩渡駅」→ 紅 13 番バス → 十三行博物館、または紅 22 番バス → 仁愛路 → 徒歩 5 分 → 十三行博物館。

新北市烏來泰雅民族博物館



タイヤル族アート

場所: 新北市烏來泰雅民族博物館

記録する文字を持たないタイヤル族文化では緻密な織物によってその歴史が伝承されてきました。伝統工芸に用いられる材料は現地で採取される竹、木、藤、麻などで、基本的には家庭で使用される実用品として作られており、タイヤル族の素朴な特徴が表れています。



🚗 自動車 → 1. 台北から: 台北 → 羅斯福路 → 北新路 → 北宜路 → 新烏路 → 烏來。
2. 宜蘭から: 宜蘭 → 北宜路 → 新烏路 → 烏來。

🚌 バス → 新店客運バス 849: 台北市青島東路 → 羅斯福路 → 新店 → 屈尺 → 烏來バス停終点。

🚇 MRT → 新店線「新店駅」→ 新店客運バス 849(台北 - 烏來)に乗換 → 烏來バス停終点。

新北市立黄金博物館



学校へ行こう—鉱山百年の教育展

会期: 04/27 より 06/24 まで
場所: 新北市立黄金博物館

1890 年代末、水金九鉱山で豊富な鉱脈が次々に発見されると、それに伴って集落が形成されました。鉱山で暮らす児童の教育的ニーズに答え、早くも 1910 年代以前には金鉱の山里に学校が設立されています。当展では、この 100 年以上に及ぶ学校の沿革、学校生活、新型教育の特色などといった山里の物語を展示します。



🚌 バス → 1. 台北—金瓜石: 台北 MRT「忠孝復興」駅 2 番出口前にて基隆客運(バス)1062 系統に乗車 → 瑞芳、九份を経て終点「金瓜石」にて下車。
2. 基隆—金瓜石: 鉄道「基隆」駅前の「基隆火車站(仁祥診所)」停留所で基隆客運(バス)の 788 系統に乗車 → 瑞芳、九份を経て「金瓜石」にて下車。

🚇 鉄道 → 「台北」駅で東部幹線の宜蘭・花蓮方面行き列車に乗車 → 「瑞芳」駅にて下車 → 新北市警察瑞芳分局脇(区民広場)「地政事務所前」停留所で基隆客運(バス)の 1062 系統、788 系統に乗車 → 「金瓜石」にて下車。

新北市客家文化園區



四海大平安—客家言語特別展

会期: 04/01 より 08/05 まで
場所: 新北市客家文化園區

童謡と児童詩を中心に、昆虫、鳥類、遊び、文化などのジャンルに、斬新なインタラクティブ体験を取り入れることにより、客家語の奥深さと面白さを表現。見学者は視覚と聴覚の豊かな饗宴を楽しみながら、インタラクティブ体験を通して、古今にわたる歴史の伝承と文化の発展について理解することができます。



🚌 バス → 台北客運バス 702 番、851 番(休日運休)、917 番、981 三鶯線先導バス、桃園客運バス 5005 番(三峽 - 桃園)。

🚇 鉄道 → 台湾鉄道「鶯歌駅」駅で下車し、桃園客運バス 5005 番(三峽 - 桃園)または、台北客運バス 981 三鶯線先導バスに乗換え。

🚇 MRT → 1. 板南線(青ライン)「永寧駅」→ 台北客運バス 917、981 三鶯線先導バス。
2. 板南線(青ライン)「頂埔駅」→ 台北客運バス 981 三鶯線先導バス。

新北市坪林茶業博物館



偉大な錬茶師—製茶工芸と文化特別展

会期: 即日より 11/04 まで
場所: 新北市坪林茶業博物館

デジタルテクノロジーを駆使したインタラクティブ技術を取り入れ、台湾に代々伝わる茶職人の精神を新しい視点で表現。茶樹の生長と育て方、製茶技術の発展と変遷、古い製茶工場の物語、茶職人の伝承と革新などについて紹介し、茶工芸の神秘のベールを少しずつ取り払っていきます。



🚗 自動車 → 新店または宜蘭から省道台 9 号線を通り、北宜線または国道 5 号に入ると到着します。景美からは 106 線で木柵、深坑、石碇 106 乙線道を通り、閣瀾から坪林行き産業道路に入れ(ぼ到着します)。

🚇 MRT → 新店駅で下車し、923 または緑 12 の新店客運バスに乗り換えて坪林観光センター(坪林中学)駅で下車、徒歩約 5 分で到着します。

新北市立淡水古跡博物館



淡水の外れにデザインあり—聖約翰科技大学クリエイティブデザイン学科展

会期: 即日より 04/29 まで
場所: 滬水一方芸術空間

淡水の外れに位置する聖約翰科技大学のクリエイティブデザイン学科が、初めて学科展を校外で開催。「淡水の外れにデザインあり」をテーマに、淡水とデザインの二つの要素をクリエイティブなエネルギーで結び付け、素晴らしい人や物が集まる淡水の革新的な新境地を、デザインの視点を通して表現します。



滬水一方漁人埠頭アトスペース

🚇 MRT → 淡水駅下車後、紅 26、857、836 のいずれかに乗車し「漁人埠頭」で下車します。